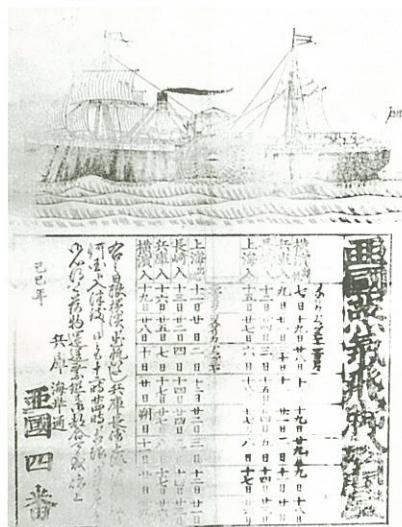


—明治初めのあきない—

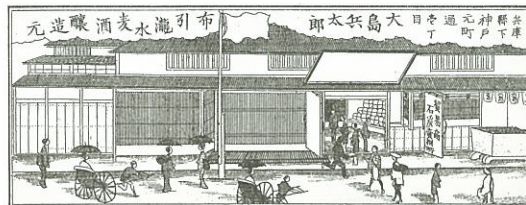


明治2年の船会社（アメリカ四番館）広告

神戸港での外航定期航路は、明治2年オランダ商社アフリカンによる神戸～上海航路に始まる。次いで、明治4年居留地4番（現在の日本郵船ビル東側）にあったアメリカ四番館が横浜～神戸～長崎～上海間に月2回の定期航路を開いた。



旅行あんない 和船に替わって蒸気船が登場、船上、荷物問屋は広告ビラを作り、宣伝につとめた。



貿易商社（豪商神氏淡の魁（さきかけ）、垣興興花岡、明・15同行、一種の商社銘鑑、神戸市立博物館蔵）
当時、神戸に所在する貿易関係商社は約70社であった。



神戸テラー（豪商神氏淡の魁、神戸市立博物館蔵）

神戸最初の洋服店は、明治2年開業の横浜「ラダージュ・エールケ商会」支店である。